

【インフルエンザ感染症罹患から登園までの流れ】

- ①発熱・咳・鼻水・下痢などの症状があり受診
- ②医師よりインフルエンザ感染症（O型）と診断される
- ③発症日を医師に確認をする
- ④園へ結果を電話で報告（欠席連絡をお願いします）
- ⑤自宅で療養中、一日3回以上の検温をし、**別紙1**に沿って裏面、**別紙2の熱型表**に体温を記入する
- ⑥登園予定日の前日までに園に電話し、体調と登園可能日を確認する。（電話の際、お手元に記録した**別紙2の熱型表**をご用意ください）
- ⑦登園当日、**療養解除届**および**別紙2の熱型表**を確認させて頂き登園

※登園時、**療養解除届**と**別紙2の熱型表**を確認させて頂きます。日数や登園可能日にズレがあり、登園停止期間内の場合には再度自宅で様子を見て頂きます。

※**療養解除届**と**別紙2の熱型表**は保育園にあります。また、園ホームページの「お知らせ」からもダウンロードできます。

【療養解除届の注意事項】

- 1 発症日 病院を受診した日ではなく、発熱などのインフルエンザ様症状が始まった日で、その日を0日とします。
- 2 解熱した日 1日の中で発熱と解熱が両方あった場合はその日は発熱日となります。
1日のどの時間に測っても平熱であること
※一度解熱し、再度発熱した場合には、必ず医師の相談を受けてください。
- 3 登園開始日 熱型表に体温をつけながら、早見表を参考にしてください。

【例：インフルエンザ出席停止早見表】

インフルエンザ出席停止期間早見表													
		くみ 名前		(平熱 ℃)									
日付	例)	1月7日	1月10日	1月11日	1月12日	1月13日	1月14日	1月15日	1月16日	1月17日	1月18日	1月19日	
例題4	記入例	発症日	発熱										
時間帯	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜	朝 昼 夜	
体温(℃)	40℃												
	39℃												
	38℃												
	37℃												
	36℃												
症状	咳	多(少)なし	少(多)なし	少(多)なし	少(多)なし	少(多)なし	多(少)なし	多(少)なし	多(少)なし	多(少)なし	多(少)なし	多(少)なし	
	鼻水	多(少)なし	少(多)なし	少(多)なし	少(多)なし	少(多)なし	多(少)なし	多(少)なし	多(少)なし	多(少)なし	多(少)なし	多(少)なし	
	その他	食欲がない	解熱剤使用 13:00 21:00	受診 インフルエンザA型									
		発症日 (発熱0日目)	発熱後1日目	発熱後2日目	発熱後3日目	発熱後4日目	発熱後5日目	発熱後6日目	発熱後7日目	発熱後8日目	発熱後9日目		
例1	発熱後1日目に解熱した場合	発熱 出席停止	解熱 (解熱0日目) 出席停止	解熱後1日目 出席停止	解熱後2日目 出席停止	解熱後3日目 出席停止	発熱後5日目 出席停止	登園可能					
例2	発熱後2日目に解熱した場合	発熱 出席停止	発熱 出席停止	解熱 (解熱0日目) 出席停止	解熱後1日目 出席停止	解熱後2日目 出席停止	解熱後3日目 出席停止	登園可能					
例3	発熱後3日目に解熱した場合	発熱 出席停止	発熱 出席停止	発熱 出席停止	解熱 (解熱0日目) 出席停止	解熱後1日目 出席停止	解熱後2日目 出席停止	解熱後3日目 出席停止	登園可能				
例4	発熱後4日目に解熱した場合	発熱 出席停止	発熱 出席停止	発熱 出席停止	発熱 出席停止	解熱 (解熱0日目) 出席停止	解熱後1日目 出席停止	解熱後2日目 出席停止	解熱後3日目 出席停止	登園可能			
例5	発熱後5日目に解熱した場合	発熱 出席停止	発熱 出席停止	発熱 出席停止	発熱 出席停止	発熱 出席停止	解熱 (解熱0日目) 出席停止	解熱後1日目 出席停止	解熱後2日目 出席停止	解熱後3日目 出席停止	登園可能		

※熱が出始めた日から、一日3回（朝・昼・夜）以上検温し、記入してください。また、解熱剤を使用した場合、熱型表に記入してください。

※解熱日の目安：1日のうちどこかで測っても平熱を基準とします。

※登園可能になりましたら、「療養解除届」と一緒に登園時に職員に提出してください。

※登園可能日にズレがあり、登園期間内の場合には再度自宅で様子を見て頂きます。

☆登園の可否について分からないことがある場合は、かかりつけ医または保育園にお問い合わせください☆